



<ひとこと>今年も雨が多かったので、あまり泳ぐ機会の無かった我が家の鯉のぼり。GWにレジャーを楽しめなかった我々同様、ストレスがたまったことでしょう・・・(なかの)

平成23年度 相談を振り返って



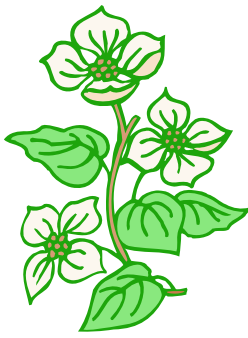
平成23年度も1年間、関係各機関の方々には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。今回は今年度のご相談をデータから振り返ってみたいと思います。

* * * * *

まずは全体的なことからです。1年間の総相談件数(延べ)は、7,248件(前年比約20%増)、月平均では約600件、一日平均では29件でした。

相談者数でいうと、年間で1,578名(前年比約20%増)、月平均131名の方のご相談をお受けしたことになりました。また、今年度新規にご相談いただき支援させていただいた方(匿名の方除く)は、308名で昨年の253名からやはり約20%増で、あいネットがウェルネス柏に移転して2年、市民の方や行政、各関連機関の方々に知っていただいたこと、また、困り事を抱えていらした方々の多さを感じます。

次に支援方法ですが、これは昨年とほぼ変わらず80%が電話、1%が訪問、7%が来所、残りがメールやFAX、手紙です。%は変わっていませんが、必要に応じて積極的に訪問支援を行っていますので訪問件数は年間760件(前年度600件)、月平均63件(前年度52件)に上ります。訪問により家族に関わりをもったり、他の支援機関の方と関わりを強固にしたりすることで、より効果的な支援を目指しています。



支援対象となる方の世帯は、単身世帯の方が37%、ひとり親世帯の方が22%と合わせると60%になります。ご家族が身近にいない方からの相談が多くなっています。柏市の単身世帯が約25%、ひとり親世帯が約7%、合わせて32%(平成17年国勢調査)という統計から見てもこれらの世帯の“生きずらさ”が表れていると感じます。また、家族関係についてのご相談は、延べ相談件数の6%になっており、その他の内容のご相談でもご家族の繋がりの細さを感じる場合があります。

家族関係をいかに良好に保っていくか、世帯の人数が減少していく中、親も子も時間的・精神的余裕が少なくなることを余儀なくされるこの時代、何らかの対策が必要だと感じます。

続いては、今年度新たにご相談いただいた方についてです。前述のとおり、今年度新たにご相談いただいた方は308名にのぼります。

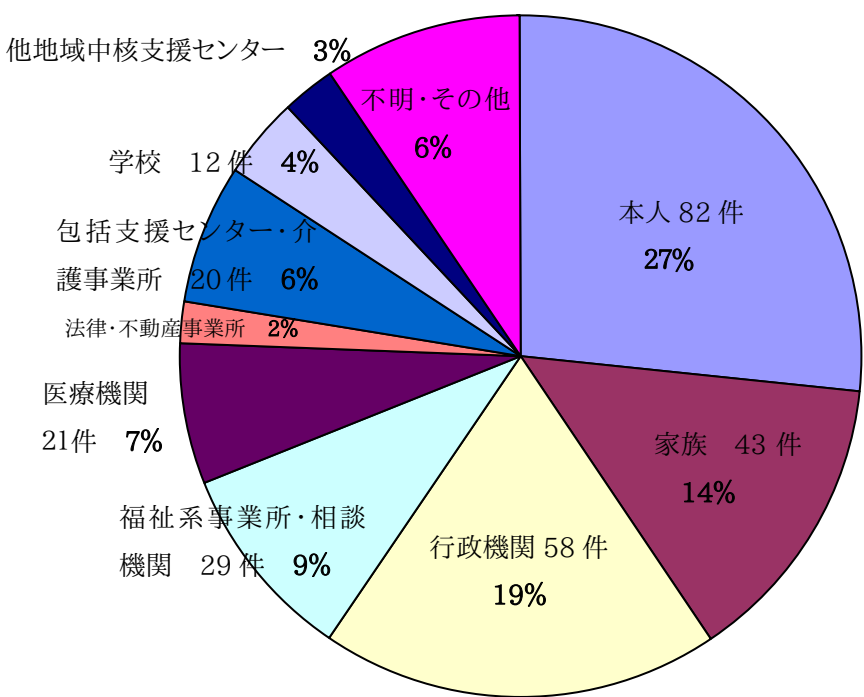
障害別に見ますと、精神障害の方が32%、知的障害の方が8%、身体障害の方が9%、発達障害の方が3%、高次脳機能障害の方が1%未満、障害の無い方および不明(障害が疑われる方でも手帳や診断がなければこの区分に入ります)の方が48%となっています。昨年と比較して顕著なのが、「障害の無い方および不明」の方が12%も増加していることです。我々から見ると障害をお持ちのようにも見えるのですが、ある程度の年齢に達するまで気がつかなかったり、(認められなかったり)して本来に御苦労されてこられてやっと制度やサービスに

がるような方、お一人では色々な手続き等が難しく、苦しい状態に陥ってしまったような方々もいらっしゃると思います。制度が適用にならない方への支援も地域で一層増えていく必要があると感じます。

また障害をお持ちでない方々のご相談は特に経済問題(25%)と住まい(17%)の問題で40%を超えて多くなっています。病気や家族不和など一つ歯車が狂ってしまうことからずれると事態が悪くなってしまうことが想像できます。事態が悪くなってしまううちに対処できるような情報や相談窓口、その広報が重要だと感じます。必要としている人いかに情報を届けるか、福祉や行政の一層の努力が必要だと思えます。

最初にご連絡いただいた方(相談元)を見てみますと、一番多いのが

初回相談元 (平成23年度 相談実績より)



ご本人から82件、ご家族から43件で合わせると125件で約40%になり、困り事をもつていらつしやる当事者の方ということになると思われます。

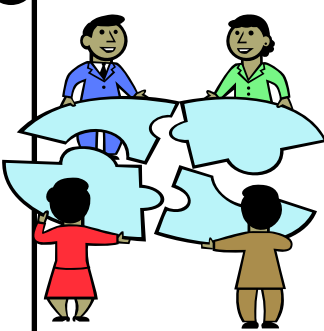
その次が行政機関で58件、福祉系の事業所・相談機関が29件、医療機関が21件、包括支援センター・介護事業所が20件、学校が12件、などとなります。このような支援機関からのご連絡が約50%ということになります。やはり、どこかに繋がっていること、支援機関同士が他の支援機関のことを知って連携をすることが大切なことだと感じます。あいネットも様々な支援機関について一層知識を広げ信頼関係を作っていきたいと思えます。

※以上の内容は、あいネットにご相談いただいた件数や人数であり、一般的な傾向とは別のものであることをご了承ください。

今年度で8年目を迎える中核センター事業の総会が4月24日千葉県庁多目的ホールで開催されました。平成23年度の事業報告や決算の承認後、平成24年度事業計画、予算案、役員改選と議事が進みました。新会長に君津ふくしネットの井本義孝さんが選ばれ、新執行部体制が決定しました。

例年のメインイベントである中核シンポジウムの内容もほぼ決まり、また、コーデイネーター部会も若手育成を目標に継続して開催される予定です。中核事業の今後の方向性への議論も今年度はより具体的に行われる計画であり、好評な中核センター白書もシンポジウムに向けて作成していく予定です。

最近では千葉県以外からも、各種シンポジウムへの参加などが求められていることから、県外での認知度が高まっているように感じます。千葉県以外でも中核事業への関心が広がることはうれしいことです。そして、肝心の千葉県で、この事業の普及・発展を見据える大切で有意義な1年になることを願ってやみません。



「フリースペース「ふらっとサロン」



かしわ

柏うお～か～



あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

教育福祉会館2階和室で、精神保健ボランティアの会「ハートシップ」が主催している「ふらっとサロン」があります。ハートシップのスタッフさんにお話を聞きました。

○どんな場所ですか？

ここは居場所づくり、交流の場づくりを目的とした市民ボランティアによる手作りサロンです。自由プログラムが基本です。おしゃべりをしたり、ゲームを楽しみ、思い思いのひとときを過ごすサロンです。また、皆さんと相談をしながら、ボウリングや調理、クリスマス会などのイベントスケジュールも盛り込んでいます。

○何人くらいの利用者がいますか？

平均は5～6人です。イベントの時は10数人来ます。年齢層は幅広く、20歳～50、60歳位までいます。

○参加条件はありますか？

保健所・障害福祉課の紹介で、仲間とふれあいや憩いを求めている方が対象です。

○精神保健ボランティアの会「ハートシップ」とは？

私たちは平成8年4月に千葉県柏市保健所の「精神保健ボランティア養成講座」を終了した28名の有志により設立しました。会員の大きな志は精神障害を持つ方々が、地域社会の中で正しい理解と協力のもと、自立した生活が出来るための手助けをしたいというものでした。

○ふらっとサロンで大事にしている事は何か？

安心して気楽に行ける場所でありたいと思っています。「あそこに行けば誰かがいる」とふらっと立ち寄ってもらえる憩いの場づくりを大切にしています。

ハートシップのスタッフさんは、「利用者さんが来てくださるからやっつけていける」と笑顔で話していました。利用者さんに「何かをしてあげる」のではなく、「寄り添う事」をととても大切にしています。先人が築き上げたこの事業を継続していく誇りと、真剣な想いを感じた取材となりました。興味がある方は、まずは保健所・障害福祉課にご相談下さい。

お知らせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
GARATA! (ガラタ!) 劇団人の森ケチャップ第10回公演 障がい者と健じょう者がいっしょにつく る・みる・あつまる舞台	6/2 (土) ①13:30～ ②18:00～ 45分前開場	松戸市民会館	前売り 1500円 当日 2000円 小学生 1000円	不要	ワークショップてりふり でんわ/FAX:047-384-3699 mail: hitokecha@yahoo.co.jp
高次脳機能障害「医療」相談交流会	6/17 (日) 13:30～16:30	東京慈恵会医科大 付属第3病院 (狛江市和泉本町 4-11-1)	無料	必要 先着5組	NPO法人東京高次脳機能障害協議会 でんわ/FAX:03-3408-3798 ※東京の病院に通っている、復職先 が東京など、東京に関係先のある 方が条件です。 詳しくはお問合せください。
生命の灯ふたたび ～脳卒中後の重い障害を越えて創った作品展～ 失語症・身体麻痺などの重い障害を負った 方々が、生き甲斐や、お仲間を得て、生命 の輝きを取り戻していく過程と、努力を重 ね作り上げた書や画の作品展。	6/26 (火) ～7/1 (日) 10:00～18:00	松戸市文化ホール	無料	不要	国立国府台病院・言語室 でんわ:047-372-3501(内線3542) 若葉の会 でんわ:047-385-4531(目黒) 047-368-7243(横張)